



共感

9月16日(金)、17日(土)、2日間の東輝祭を、感染症や日程のやりくり、天候の心配等をのりこえ、無事やり遂げることができました。1日目の文化部門では、朝、立派なアーチが生徒を迎え、東輝祭が始まりました。今まで蓄積した力を発揮した映像による発表では、努力を積み重ねたソーラン節やブロック発表、学年の願いを表す学年発表に感心しました。展示では、全校の生徒で作り上げた全校制作、個性豊かな美術部の作品、クラスを象徴する学級旗等、細部にまでこだわった作品を見ることができました。対面式の発表では、体育館に全校生徒が半分ずつ集まって鑑賞する2回の公演となりましたが、吹奏楽部や演劇部の想いのこもった発表を、直接受けとめることができたのは、大変意味のあることでした。3年生の演劇部員にとっては、入学以来これが初めての経験でした。2日目の競技部門では、ブロック長の力強い宣誓のように、全てのクラス、ブロックが最後まであきらめず、みんなで協力して精一杯取り組む姿に感動しました。工夫して、新たな伝統をつくった全校生徒による応援が象徴するように、この2日間は、コロナ禍3年間の生徒の成長を伝えてくれました。

本校は、ずっと2日間の東輝祭にこだわっています。感染症対策で実施できなくなったものもありますが、取組方法を変更する等して、できる限りのことに取り組んできました。それは、この東輝祭が、みんなの「想い」を確認する大切な時間だからです。日常生活から、生徒一人ひとりが、自分のために、そしてみんなのために頑張っています。そのことを、作品を見ることによって、発表を鑑賞することによって、競技に取り組むことによって、生徒自身が体感します。その経験は、今後の学校生活や、未来に向かって役立つものになるのです。「結翔～新たな東中のカタチ」をスローガンに行った今年の東輝祭は、映像にライブ中継を入れる等新しい試みも取り入れ、伝統を受け継ぐだけでなく前に進むと共に、その願いを見事に果たすことができました。

この時間は我々教師にとっても大切な時間となります。また、保護者の皆さんともこの時間を共有したいと、ずっと思っていました。コロナ禍3年目、PTA役員の皆さんのご協力もあり、ようやく保護者の皆さんに東輝祭に来ていただくことができました。時間等の制限があり、ご迷惑もおかけしましたが、ご理解いただき感謝しています。感染症対応は今後も続きます。可能な限り、学校も頑張ります。「子供たちのために」、これからもご理解とご協力をお願いします。



2 学期始業式 生徒代表の決意

(抜粋)

1 学期の最後に行った学年総会で出た、「忘れ物が多いこと」「切り替えが遅いこと」という課題を改善していきたいと思います。東輝祭では、受け身にならず主体的に取り組みに参加していきたいと思います。東輝祭を通し、東中が1つに団結し、大成功と言えるように頑張っていきたいです。また、部活動では1, 2年生のチームへと代替わりします。1回1回の練習で目的意識と集中力をもち、常に全力で取り組みたいです。2学期も様々なことに全力で取り組み、個人としても、集団としても成長したいです。 1年2組 中田理人

1 学期は3回の学年総会を通して、「大樹の法典」の取り組みや新しい第5条について討議を行いました。学年全体で確認し、ネットの使い方や校則について考えることができました。2学期は、課題と感じているあいさつを習慣化できるよう、意識して呼びかけを行っていききたいと思います。12月には生徒会役員選挙が行われます。3年生から東中を引き継ぐことを意識する活動が増えていきます。気が緩むことなく、今まで東中で過ごした経験を生かし、実りのある2学期を送れるよう努力していきたいです。 2年2組 安藤悠心

夏休みに部活動の最後の大会を迎え、達成感もありますが、名残惜しい気持ちもあります。「こうしていろいろなことが終わっていくのか」と考えると、2学期の行事も悔いなく大成功で終わらせたいです。中でも最大の行事が東輝祭です。コロナ禍でも私達が積み重ねてきたものをカタチにし、新たな東中の伝統として残すことができればいいと思います。全員が「志」をもち、全員で最後の東輝祭を創り上げたいです。進路の不安は消えません。しかし、学習と両立し、仲間と共に悔いのない中学校を送っていききたいです。 3年2組 杉山七海

前期が終わります

早いもので、暑さが厳しく熱中症の心配をしていたのが、朝晩肌寒く、長袖が必要な季節になろうとしています。10月は後期のスタートです。1年生は先輩になるための、2年生は3年生から学校を引き継ぐための、そして、3年生は卒業に向けての準備をしていきます。

前期は、奈良・京都への修学旅行、林間学校、部活動の大会で活躍、保護者の皆さんに来ていただくことのできた東輝祭の実施等、その中での生徒の成長を見ることができて実りの多い時間だったように思います。その経験を後期に生かし、さらに成長して行って欲しいと思います。ただ、日常生活を含め、そういった活動において常に感染症対応に気を配り続けてきたことも事実です。後期の活動も決して気を抜くことなく対応を続けていきたいと思っています。

東輝祭を終えても思うのですが、コロナ禍であるこの3年間は大きな意味があった時間でした。対面で顔を合わせることができなくても、互いを理解しようと努力した時間でした。世の中は様々な規制が少しずつ無くなっていき、対面で行えることも増えてきています。でも、だからこそ、この3年間で養ってきた「思う」力を大切にすることにより、コロナ禍前も課題となっていた人と人とのつながりをつくることになるのだと思います。

本校ではこの3年間、生徒会活動等を通して、「想」、「創」、「結」を大切に教育活動に取り組みしてきました。不確かな未来を力強く生きていく生徒が、これからもこの東中で成長できるよう、後期も取り組んでいきます。「結び」に向かって、生徒、教師、保護者、地域の皆さん、学校に関わる全ての方が、「想い」を重ね歩んでいくことができたらと思います。よろしくお祈りします。